

**製品名: HCK マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM85991**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:4000, ICC 1:25-1:50
分子量	59.6kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HCK
別名	Tyrosine-protein kinase HCK, Hematopoietic cell kinase, Hemopoietic cell kinase, p59-HCK/p60-HCK, p59Hck, p61Hck, HCK
遺伝子 ID	3055.0
SwissProt ID	P08631
免疫原	この HCK 抗体は、ヒト HCK の組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

**背景**

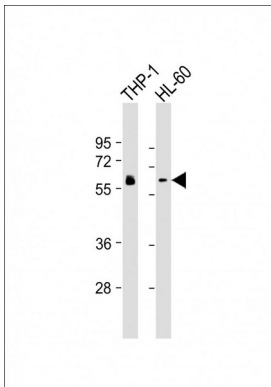
造血細胞に存在する非受容体型チロシンタンパク質キナーゼ。細胞表面受容体からのシグナルを伝達し、好中球、単球、マクロ

ファージ、肥満細胞の機能、貪食、細胞の生存と増殖、細胞接着と遊走などの自然免疫応答の調節に重要な役割を果たします。免疫グロブリンのFc領域に結合する受容体（FCGR1A、FCGR2Aなど）の下流で作用するだけでなく、CSF3R、PLAUR、IFNG、IL2、IL6、IL8の受容体、そしてITGB1、ITGB2などのインテグリンにも作用します。貪食過程においては、分泌リソソームの動員、脱顆粒、NADPHオキシダーゼの活性化を媒介し、呼吸バーストを引き起こします。炎症性分子の放出にも関与しています。アクチン細胞骨格の再構築とアクチン重合、ポドソームおよび細胞突起の形成を促進する。TP73を介した転写活性化およびアポトーシスを阻害する。免疫グロブリンγFc領域受容体の活性化に反応してCBLをリン酸化。ADAM15、BCR、ELMO1、FCGR2A、GAB1、GAB2、RAPGEF1、STAT5B、TP73、VAV1、WASをリン酸化。

## 研究分野

-

## 画像データ



全レーン：抗HCK抗体（1:2000～1:4000希釈）